

事業名	NBC偵察車	担当部局	管理局開発計画課
政策分野	防衛装備の適正な維持・管理（研究開発）	実施時期	平成16年6月～8月

事業の内容 化学防護車及び生物偵察車の後継として化学防護隊（小隊）等に装備し、広域にわたる有毒化学剤、生物剤及び放射能汚染地域の状況を迅速に偵察（検知、識別等）し、じ後の部隊運用等に必要な情報を収集するために運用されるNBC偵察車を開発する。	17	18	19	20	21	22	完了年度
							21年度 開発経費
	所要経費 約13億円（17年度要求額。後年度負担額を含む。）						約43億円

評価の内容

事業の目的 核・生物・化学（NBC）武器に対しては、その被害を局限し作戦・戦闘全般への影響を最小限にする必要があり、そのためには早期に汚染地域等の状況を解明し、適切な防護等の処置を構ずる必要がある。 このことから、広域にわたる有毒化学剤、生物剤及び放射能汚染地域の状況を迅速に偵察（検知、識別等）し、じ後の部隊運用等に必要な情報を収集するためのNBC偵察車を開発する。	事業実施の効果・時期 1 事業実施の効果 広域にわたる有毒化学剤、生物剤及び放射能汚染地域の状況を迅速に偵察（検知、識別等）し、必要な情報の収集が可能となる。また、現行のNC対処とB対処を一本化すること及び将来の装輪戦闘車両ファミリーとの共通化を行うことにより、運用性の向上にともなう費用対効果と整備コスト、ライフサイクルコストの抑制が可能となる。 2 事業実施の時期 平成17年度から20年度までの間に試作、また、平成19年度から21年度までに技術試験をそれぞれ実施することを目処としている。
---	--

事業の必要性・適正性

現有装備品をベースにした改良・改善では、NBC偵察機能を一つの車両に搭載することは困難であり、将来の装輪戦闘車両ファミリーとの共通化の可能性等を考慮すると非効率である。 諸外国の類似装備品としては、FOX（米）、VAB-RECO（仏）等があるが、いずれもNBC偵察車としての要求性能を満足するものはない。

今後の対応

運用性の向上等により、広域にわたる有毒化学剤、生物剤及び放射能汚染地域の状況を迅速に偵察（検知、識別等）し、必要な情報の収集を行うことが可能になると評価できることから、平成17年度概算要求を実施する。
--

その他の参考情報

（この欄は空欄です）
